

[ビフォーアフターシーブイ]

製品版 利用マニュアル

ver.180801

CVは、Comuter Visionを意味します。





- · macOS10.8 (MoutainLion) 以降、CPU 64bit
- · Windows7以降、CPU 32/64bit
- · 比較PDFはフォントが埋め込まれていること
- ・シリアル番号を入力しない場合、デモ版として20回使用可能



180801版での改善

1) 長いパスで、表示しきれない場合でも、 ファイル名をラベルの後に表示するよう修正 2) 処理パラメータをlog.confとして、書き出すよう修正 (どのような設定をしたか、確認や再設定が可能に) 3) 青赤htmlで、青赤ボタンの下に、Before、Afterを表示

BeforeAfterCV	v oo_114351	
比較処理 App情報	_pageCompare.pdf	ON Before (* 1 2
核了 比較 Before: 060_061_SM09_Q35_1PAGE2.pdf //olumes/BeforeAfter/END/DELETE/SM09-BA_HN07_07242042/OLD/060_061_SMC After : 082_083_SM09_Q42_1PAGE1.pdf //olumes/BeforeAfter/END/DELETE/SM09-BA_HN07_07242042/NEW/082_083_SM Output: HOT //olumes/BeforeAfter/HOT	<pre>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>></pre>	Betore I ON I After I I I

<surround>False</surround>

180711版での変更

1) ボタン位置を変更

2) ウインドウ最小サイズを変更

(画面を占有しないよう、小さく表示できるようにする)

		BeforeA	fterCV	
		比較処理	App情報	
447	_			
Before (Old):				
After (New):				
rater premy.				
出力先:				
処理方式:		煽り)	囲み:
● 強調 ● 差分 ● 青赤 (囲み	 一 育功 一 交対 	7 1	○無 ○有
半調部:			La Contra de Contra d	強調色:
○グレー ○カラー	10	20	90	◎赤 ○黒 ○青 ○黄
拡大率%:				マッチ出力: PDFまとめ:
 ● 100 ○ 50 ○ 200 	25	100	300	○有 ○無 ○有 ○無
解像度dpi:				文字円滑化: トリム: 0
 ● 150 ○ 75 ○ 300 	75	150	400	○無○有
位置補正: 誤差:	-0			ノイス削除回数:
	1	5	20	





180709版での新機能

1) 処理方式「差分」を追加

2) pdfを作成するボタンとhtmlを作成するボタンを分離

3) 半調部の濃度調整できるようスライダー追加

4) 青赤pdfをシアン・マゼンタにし、濃度調整も可能

fore (Old):	比較処理	App情報	L	
fore (Old):				
tor (Now):				
er (new).				
力先:				
	\frown			
战理方式:	□ 煽り	囲み:		
登調 差分 青赤 囲み	 □ 青赤 □ 交差 	○無 ())有 終	了
半調部: %:	\square		強調色:	
)グレー ()カラー 10 ⁰⁰	20	90	⊙赤 ○黒	○青 ○黄
広大率%:			マッチ出力:	PDFまとめ:
100 50 200 25	100	300	◯有 ◯魚	○有 ○無
释像度dpi:			文字円滑化:	トリム:
150 75 300 75	150	400	○無 ○有	U
位置補正: 誤差:			ノイズ削除回数:	
→無 ○有 ○版 1	1	20	00 1	2 /2 =

旧BeforeAfterにあった、 差分カラーのCustom01、 Custom02と同じ出力が できるよう対応しました。



基本的な使い方



Windows10		
BeforeAfterCV	_	\times
比較処理 App情報		
終了 比較 Before (Old):		
After (New):		
出力先:		

Windows7

BeforeAfterCV	
比較処理 App'情報	
終了 比較	
Before (Old):	
Arter (New):	
出力先:	
<u> </u>	

7



任意の場所に置いてください。 ダブルクリックして起動します。

環境によっては画面表示までに 時間がかかる場合があります。



アプリケーションの起動

macOS



	BeforeAfterCV
	比較処理 App情報
終了 此彰	3
Before (Old):	
After (New):	
出力先:	
L	

任意の場所に置いてください。 ダブルクリックして起動します。

環境によっては画面表示までに 時間がかかる場合があります。

以後キャプチャはMac版を使用しますが、Win版でも同様な動作となります。



• • •	BeforeAfterCV	ハイ
	比較処理 App情報	シリ
	シリアル番号入力	正し
	demo-BACV-DEMO-bacv	
	Ver:180709	間違
0		の表
シリ	リアル番号を入力してください。	
de	emo-BACV-DEMO-bacv	
	Cancel OK	シリ
_		デモ

ック

ダイアログが表示されます。 フンを含め、シリアル通知書の19文字の アル番号を入力してください。

ければ、入力値が表示されます。

っている場合、bad!-bad!-bad!-bad! 示になります。

アルが未入力の場合、デモ版となります。 版は20回処理できます。

シリアル番号は、Win版、Mac版共通となっています。購入申込書を弊社受領後、発行いたします。

新旧比較ファイルのDrag&Drop



例:デスクトップにある2017.pdfをBeforeに 2018.pdfをAfterにDrag&Drop

比較できる画像形式は、pdf、png、jpg、tif(tifは圧縮形式によっては処理できない場合があります)。 異なる画像形式の比較(例:pngとjpg)はできません。

拡張子は、小文字です!





例:デスクトップにある「比較2017」フォルダをBeforeに 「比較2018」フォルダをAfterにDrag&Drop

新旧のファイルの照合順序は、フォルダ内のファイル名称順で行います。

出力先フォルダのDrag&Drop

BeforeAfterCV	
比較処理 App情報	
終了 比較	
Before (Old):	
/Users/CTE/Desktop/比較2017	
After (New):	
/Users/CTE/Desktop/比較2018	
出力先:	
/Users/CTE/Desktop/STOCK	•

例:デスクトップにある「STOCK」フォルダを出力先に Drag&Drop





旧BeforeAfterのデータ投入構造フォルダをDrag&Drop

BeforeAfterCV		BA_Hagaki
比較処理 App情報	•	new
終了 比較		After.pdf
Before (Old):	-	old
/Users/CTE/Desktop/BA_Hagaki/old		PDF
After (New):		Before.pdf
/Users/CTE/Desktop/BA_Hagaki/new	1	
出力先:		
/Users/CTE/Desktop/BA_Hagaki		
	-	

例:デスクトップにある「BA_Hagaki」フォルダを**ウインドウ**にドロップ

出力先に、ドラッグした、「BA_Hagaki」を自動で設定 Beforeに、「BA_Hagaki」内の「old」を自動で設定 Afterに、「BA_Hagaki」内の「new」を自動で設定



フォルダ構造が深く、パス表示	「が切れる場合
BeforeAfterCV	
比較処理 App情報	
終了 比較	
Before (Old):	+に た ば ス ス と が ズ さ ナ ナ
/Users/CTE/Desktop/BACVテスト/テストケース4/book2018_07_09/BeforeImageFolder/	石に広りることかできます
After (New):	
/Users/CTE/Desktop/BACVテスト/テストケース4/book2018_07_09/AfterImageFolder/K	
出力先:	
/Users/CTE/Desktop/BACVテスト/テストケース4/BA_Hagaki	

DeforeAfterCV BeforeAfterCV
比較処理 App情報
終了 比較
Before (Old):
/Users/CTE/Desktop/BACVテスト/テストケース4/book2018_07_09/BeforeImageFolder/KamataHagaki/B
After (New):
/Users/CTE/Desktop/BACVテスト/テストケース4/book2018_07_09/AfterImageFolder/KamataHagaki/B
出力先:
/Users/CTE/Desktop/BACVテスト/テストケース4/BA_Hagaki



比較ボタンで処理開始	
	クリック
🔴 😑 🔵 Before	AfterCV
終了 比較 Before (Old): /Users/CTE/Desktop/比較2017	App情報
After (New): /Users/CTE/Desktop/比較2018	
出力先: /Users/CTE/Desktop/STOCK	

00

2017.pdf

New images to png.

処理状況をプログレスバーで表示します。 終了すると閉じます。



処理結果 フォルダ





比較結果 _pageCompare.pdf

差分の無い箇所は半調に。差分箇所は強調色。



• • • BeforeAfterCV 比較2017 比較結果 log.txt 比較処理 App情報 2017-a.pdf 終了 比較 2017-b.pdf Before (Old): /Users/CTE/Desktop/比較2017 After (New): 比較2018 /Users/CTE/Desktop/比較2018 出力先: 2018-a.pdf /Users/CTE/Desktop/比較結果 2018-b.pdf 🔮 log.txt Evaluation Ended 1. W. 🗅 2017/08/18 10:49:59 Start 1 pdfは、それぞれ3ページ 2017/08/18 10:49:59 Before image2png 2 3 2017/08/18 10:50:06 After image2png 4 2017/08/18 10:50:13 compare 1/6 0001-000001 --> match 2017/08/18 10:50:14 compare 2/6 0001-000002 --> unmatch 5 2017/08/18 10:50:14 compare 3/6 0001-000003 --> unmatch 6 2017/08/18 10:50:14 compare 4/6 0002-000001 --> match 7 2017/08/18 10:50:14 compare 5/6 0002-000002 --> unmatch 8 2017/08/18 10:50:15 compare 6/6 0002-000003 --> match 9 2017/08/18 10:50:16 End 10 Text File . Unicode (UTF-8) . Windows (CRLF) . Saved: 2017/08/18 10:50:52 L: 11 C: 1 日時分秒:Start → 開始 日時分秒:Before image2png → Before(old)データの画像化

日時分秒:After image2png

日時分秒: compare 1/6 0001-000001 --> match

日時分秒: compare 5/6 0002-000002 --> unmatch

→ Before(old)データの画像化
 → After(new)データの画像化
 → compare 1/6 全体6ページの1ページ目を比較
 0001-000001 1番目のPDFの1ページ目
 match 差分なし
 → compare 5/6 全体6ページの5ページ目を比較
 0002-00002 2番目のPDFの2ページ目
 unmatch 差分あり
 → 終了



日時分秒:End

アプリケーションの終了

終了時のパラメータ設定、ウィンドウサイズが記憶され、次回起動時に引き継がれます。

	BeforeAfterCV
終了 Before (Old) /Users/CTE/Desktop/BA_H	比較処理 App情報 較 Hagaki/old
After (New):	
/Users/CTE/Desktop/BA_H	Hagaki/new
出力先:	
/llsers/CTE/Deskton/BA H	Haqaki





こんなこともできます

マルチスレッド (並列処理)

BeforeAfte			
比較処理A	比較処理 App情報		
終了 比較			
Before (Old):		old	
/Users/CTE/Desktop/BA_Hagaki/old	98%		
After (New):			
/Users/CTE/Desktop/BA_Hagaki/new	00	old	
出力先:	After images to png.		
/Users/CTE/Desktop/BA_Hagaki			

完了を待たずに「比較」ボタンを押して、別の比較を行います。

キャンセルする場合

BeforeAfterCV			
比較処理 App情報			
	00	old	
X#104	Before images to png.		\frown
Before (Old):			Connel
/USERS/CIE/DESKTOP/BA_Hagak1/010			Gancel
After (New):			
/Users/CTE/Desktop/BA_Hagaki/new			
出力先:			
/Users/CTE/Desktop/BA_Hagaki			





パラメータの設定

BeforeAfterCV	
比較処理 App情報	
終了 比較	
Before (Old):	
After (New)	
After (New):	
出力先:	
	デフォルト設定値
	BeforeAfterCV
	比較処理 App情報
	終了 比較
引き下げると、表示されます。	Before (Old):
	After (New):
	出力先:
	処理方式: 煽り 囲み:
	 ● 強調 ● 差分 ● 青赤 ● 無
	半調部: 強調色: 強調色:
	 ● 100 ○ 50 ○ 200 25 100 300 ● 有 ○ 無 ● 有 ○ 無
	解像度dpi: 文字円滑化: トリム: 0
引き上げると、隠れます。	





PDF

_pageCompare.pdf



どのように比較するかを選択します。

- 「強調」:差分箇所は強調色で塗りつぶします
- 「差分」:差分箇所はAfterで表示します
- 「青赤」:Beforeをマゼンタ、Afterをシアンで作成し重ねます
- 「囲み」:After上に、差分箇所を赤枠で囲みます。









・青赤









差分htmlを作成する場合にチェックします。複数のチェックも可能です。

「煽り」:煽り(アオリ、パタパタ)を表示します

「青赤」:Beforeをマゼンタ、Afterをシアンで作成

表示・非表示、移動、拡大、縮小、変倍、傾斜で調整できます 「交差」:BeforeとAfterを並べます





※推奨ブラウザはChromeです

10.8の古い環境のSafariでは表示が崩れます。 https://google-chrome.jp.uptodown.com/mac/oldより Google Chrome 34.0.1847.116 など 古いバージョンのChromeを取得してください

ブラウザ表示





ページネーション

拡大・縮小



表示・非表示



ドラッグして位置変更



変倍













10.8の古い環境のSafariでは表示が崩れます。 https://google-chrome.jp.uptodown.com/mac/oldより Google Chrome 34.0.1847.116 など 古いバージョンのChromeを取得してください





処理方式:	□ 煽り	囲み:	
● 強調 ● 差分 ● 青赤 ● 囲み	 □ 青赤 □ 交差 	(無	◯有

差分箇所を、赤枠で囲みます。 「強調」「差分」でのみ作成します。















34









マッチングした箇所は、半透明になります。 その箇所をグレーにするか、カラーにするかを選択 します。













35









半調部の濃度を変更できます。

この値で処理されます(スライドバーを動かして値を変更します)

・グレー

・カラー

・処理方式

「青赤」



00

00

S.



30



50



00

謹賀



70













「青赤」の濃度調整も、ここのスライドバーで行えます 36

00

siy.



比較結果の画像サイズを指定します。100%は元画像と同じ大きさになります。

値が小さいと処理時間が短くなり、サイズも小さくなります。 ラフな比較や、サイズ制限がある場合などに使用してください。



PDFのページを画像化する際の解像度を指定します。 75が100%、150が200%、300は400%まで拡大してもジャギりません。 値が大きいと、ファイルサイズは大きく、処理時間がかかります。 通常は150、小さい文字は300、ラフな比較なら75と使い分けます。

CTE.INC.





ページ内全てマッチングした場合、 そのページを出力するか、しないかを選択します

2ページ目が差分が無いPDFの場合



2ページ目が差分が無いので、作成しません。

log.txtには次のように記録され、何ページがマッチしたかが分かります。











差分が過剰反応している場合や、 ノイズ的な点々が多く発生している場合、 削除処理を行います。





トリミング幅を、数値指定します。



入力した数値ピクセル幅で、周囲をトリミングします。 0または、数値以外の場合は処理しません。









この値で処理されます(スライドバーを動かして値を変更します)

誤差の許容値です。

「5」は、濃度5%以上の差があればアンマッチと見なします。 濃度5%未満の差はマッチングと見なします。



・無 位置補正を行いません。
 Before, AfterのPDFサイズが同一でないといけません。
 異なる場合、エラーメッセージを出力し、処理を中断します。





「無」に比べ、処理時間が大きくかかります。







(ホームページからもご注文を乗っております。IPL-GUP.3事をご覧ください。)



「版」は、版面内を比較します。 **PDFの比較時に有効**です。

PDF内の**Trim Boxの座標情報**を読み取り、 版面サイズを加工します。

この情報が無い、正確で無い場合は、 Trim Boxの座標情報ではなく「画像探査」 でサイズ加工します。 そのため、余計な反応が出る可能性があります。

正しい反応結果を出すためには、 Before, Afterの紙面サイズを同一に してください。



42

				Save	
	BeforeAfterCV			設定値保存	
	比較処理 App情	報	Save As: Untitle	ed.conf	✓
終了 比較			Tags:		
Before (Old):			Where: 🛅 쿠	マクトップ	0
After (New):				Cano	el Save
出力先: 処理方式: ② 強調 ② 差分 ③ 青赤 (一 煽り 一 青赤 一 交差 	囲み:			
 半調部: グレー カラー 拡大率%: 100 50 200 解像度dpi: 	10 20 9 25 100 300	 強調色: ○ 赤 ○黒 ○ マッチ出力: ○ 有 ○ 無 文字円滑化: 	青 黄 PDFまとめ: • 有 魚 トリム:	拡張子は必ず	ずconfにしてくださ
 150 75 300 位置補正: 誤差: ・ 無 有 版 	75 150 400 1 5 20	 ● 無 ○ 有 ノイズ削除回数: ○ 0 ○ 1 ○ 2 	保存 保存	クリック	



パラメータの読込み

• • •

BeforeAfterC	/		. • •	BeforeAfterCV
比較処理 App	情報			Lttrage App#
終了 比較			187 H48	
Refere (Old):			- 1 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
Belole (Old).			Before (Old):	
After (New):			/Users/yukio/Desktop/Before.pdf	
Alter (New).			After (New):	
山力生.		\rightarrow	/Users/yukio/Desktop/After.pdf	
			出力先:	
Mart-6			/Users/yukio/Desktop/Captures	_
			処理方式:	☑ 煽り
● 強調 ● 差分 ● 育赤 ● 囲み ■ 交差			●強調 ●差分 ●青赤 ●	川み 2 青赤
半調部:	強調色:		半調茶:	_ ×座
 ● グレー ○ カラー 10 20 	90 ②赤 〇黒 〇青 〇黄		●グレー ○カラー	
拡大率%:	マッチ出力: PDFまとめ:		新十 <u>第</u> 94.	10 20 1
 ○ 100 ○ 50 ○ 200 25 100 30 			100 50 200	0
解像度dpi:	文字円滑化: トリム:		100 000 200 2	5 50 300
0 150 75 300 75 150 40			150 75 000	b
位置補正: 認差:	ノイズ削除回数:		75 0300 7	5 75 400
			位置利止: 訴差:	
ダイフ	マログにDrag&Drop			1 chant series
+ 7	しまれれます			2 * <params></params>
9 6 0	と、	Untitled.conf		3 cold_path>/ 4 snew path
				s cout_patho
				6 <comp_type 7 <comp_aori 7</comp_aori </comp_type
				s <comp_blue< td=""></comp_blue<>
				3 Kcomp_cros 10 <surround></surround>
				11 cmatch_cold
				13 Kdif_color>
				14 <zeom_btna< td=""></zeom_btna<>
				16 <match_prin< td=""></match_prin<>
				17 <one_pdf>T 18 <doi_btn>1</doi_btn></one_pdf>
				19 <dpi_values< td=""></dpi_values<>
				20 <anti_value: 21 <trim_value:< td=""></trim_value:<></anti_value:
				22 <data_type3< td=""></data_type3<>
	xml形式なので.	テキストエディタ	'で修正可能です	23 <threa_value 24 <noise_btno< td=""></noise_btno<></threa_value
				25 knoise_valu
				26 <window_h 27 <window_w< td=""></window_w<></window_h
				28 % «/peremo»

App情報 囲み: ○無 ○有 強調合: ◎赤 ○黒 ○青 ○黄 90 マッチ出力: PDFまとめ: ○有 ○魚 ○有 ○無 300 文字円滑化: トリム: 0 ○無 ○有 400 ノイズ削除回数: 保存 0 01 02 20 version="1.0" 7> m-sc ld_path>/Users/yukio/Desktop/Before.pdf</old_path> ew_path>/Users/yukio/Desktop/After.pdf</new_path>

- ut_patho/Users/yukio/Desktop/COMP</out_patho
- omp_type>normal</comp_type>
- omp_aori>True</comp_aori> mp_bluered>True</comp_bluered>
- omp_cross>False</comp_cross>
- rround>False</surround>
- atch_color>gray</match_color>
- atch_alpha>40</match_alpha>
- If_color>crimion</diff_color>
- oom_btn>1</zoom_btn>
- iom_value>0.5</zoom_value> atch_print>False</match_print>
- re_pdf>True</one_pdf>
- pi_btn>1</dpi_btn>
- pi_value>75</dpi_value>
- nti_value>no</anti_value> im_value>0</trim_value>
- ata_type>MEDGA</data_type>
- ves_value>1</thres_value>
- oise_btn>1</noise_btn>
- sise_value>1</nsise_value> indow_H>450</window_H>
- indow_W>610</window_W>

位置補正「有」と 誤差・ノイズ削除回数



位置補正「有」と誤差・ノイズ削除回数

位置補正:	誤差:			ノイズ削除回数:
○無 ●有 ○版	1	5	20	0 01 02

Repti-fu-d- Notes and Statistic Statistics

位置補正「有」で画像サイズが異なるものを比較できるようになりました。 結果はBefore(old)基準となります。

例:ページとその1部





46

Las B.C.

・ 位置補正 有 & 誤差 1 & ノイズ削除回数「O」 で実行



・ 位置補正 有 & 誤差5 &ノイズ削除回数「2」 で実行





・ 位置補正 有 & 誤差 1 & ノイズ削除回数「O」 で実行



BACV_RedBlue.htmlでも確認できます







Before







After







・ 位置補正 有 & 誤差 1 & ノイズ削除回数「O」 で実行











・ 位置補正 有 & 誤差5 & ノイズ削除回数「2」 で実行



・ 位置補正 有 & 誤差 1 & ノイズ削除回数「O」 で実行



例:データと紙スキャン

Before がPDFデータです。Afterは校了紙として紙に出力したものをスキャンしたデータです





・位置補正「有」ノイズ削除回数「2」許容誤差「15」



・位置補正「有」ノイズ削除回数「2」許容誤差「20」





紙スキャンは「青赤」がオススメ

紙スキャンの処理結果は前ページのように、パラメータを 変えても多くの反応が出て、分かりにくくなります。

この場合、処理方式を「青赤」にすると反応箇所が分かり 易くなります。

右は、位置補正「有」、許容誤差「15」、ノイズ削除回数 「1」で処理したものです。



53





・位置補正のポイント

Beforeの画像内容で「画像探査」しますので、 画像サイズが、Before > Afterだとマッチしない場合があります。 Beforeが傾いていると、反応が多くでます。

紙スキャンの場合、DTPデータをBeforeに、紙スキャンデータをAfterに入れてください。

また、画像探査するため、位置補正を行うと処理時間が多くかかります。 解像度を下げると、時間を短縮できます。



湷 エラーメッセージ

Beforeが正しくありません。 Afterが正しくありません。 Outputが正しくありません。 同じシリアルが起動しています! 正しいシリアル番号ではありません。 デモの使用回数を超えました。

評価期間が終了しました。

- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 同一ネットワークで、同じシリアル番号が起動しています。
- ---> 正しいシリアルを入力してください(p10参照)。
- ---> 21回目以降の処理時に表示。 継続的な使用には、購入し正規のシリアルを入力してください。 ---> 評価期間を超えたアプリ起動時に表示。

継続的な使用には、購入し正規のシリアルを入力してください。

・> エラーログ

== Error 2 == 画像サイズが異なっています。 ---> 新旧の画像サイズが同一でない場合に表示

位置補正「有」にするか、サイズを同一にしてください。

== Error 5 == Out Of Memory Error ---> 画像サイズが大きく、メモリ不足の場合に表示

== Frror X == メッセージ

- 拡大率や解像度を調整してください。
- ---> メッセージの内容のエラーが起きました。
- データ、パラメータを確認し、再実行してください。

エラーが解消しない場合、product-support@web-cte.co.jpへ お問い合わせください。



✤ 改訂履歴

2017.05.25	•••••	新規作成 評価版ユーザマニュアル
2017.08.16	•••••	新規作成 製品版ユーザマニュアル
2017.08.30	•••••	追記、修正
2017.09.07	•••••	シリアル登録画面修正
2017.10.05	•••••	新規処理方式「囲み」を追加
2017.10.10	•••••	キャンセル処理、修正
2017.11.17	•••••	動作環境、補足
2018.03.01	•••••	スライドバー、設定保存ボタン追加
2018.03.07	•••••	180309版(UI変更、スライドバー対応)
2018.03.29	•••••	180401版(新旧ページ数相違の場合、警告表示)
2018.05.21	•••••	180521版(処理結果フォルダの中間処理ファイルを削除)
2018.06.20	•••••	180622版(青赤版Html追加)
2018.06.29	•••••	180702版 未公開(処理方式差分追加、交差法Html追加)
2018.07.09	•••••	180709版(上記に伴いUIを整理・変更)
2018.07.17	•••••	180711版(ボタン位置変更)
2018.07.27	•••••	180801版(投入データ名称表示、log.conf書き出し)

(株シーティーイー
〒112-0005 東京都文京区水道1-9-1 | & Iビル
Tel: 03-5689-4161 Fax: 03-5803-3381
Mail: product-support@web-cte.co.jp



56